

寄せられた意見

No. 6

受付日	H17. 2. 18	年齢	34歳	居住 市町村名	江別市
件名	サンルダム事業についての意見(サンルダムは必要なのか)				
<p>天塩川流域の治水対策として、流域面積の3%の支流であるサンル川にダムを造る効果と旭川開発建設部から出されたパンフレットにある4つの事業目的について、疑問を感じています。</p> <p>この事業内容については、かなり以前より計画されているようですが、下流域の治水の効果について、どのように流域の住民方に説明されているのでしょうか？過去の資料などを探しても、実体が分からない状態です。また道税も使うわけですから、道民への説明が不足しているのではないのでしょうか。</p> <p>貴会の資料を拝見すると過去4回の洪水が上げられています、いずれも水不足となりやすい夏季に生じています。水道水の確保とした利水と、洪水を防ぐための治水はダムの保水率を考えると相反すると思いますが、このような十分な効果を両立できるのでしょうか。</p> <p>そのために大きなダムを造る事業計画となっているのであれば、多目的ではなく洪水の原因に即した治水事業として見直すべきかと思えます。また、発電についても大きなダムであるのに対し風力発電一機分程度の発電量です。ここにも多目的な必要性に疑問を覚えます。</p> <p>最後に、最も不思議に感じている目的、河川環境の保全についてです。</p> <p>ご存じの通り、サンル川には天然のサクラマスが多数産卵遡上にあがる川として知られています。サクラマスは河川依存度の高い魚として、漁業面としても増殖事業が進まず天然資源に頼っている状況です。遊魚放流やさけます事業による移植放流が進む昨今、このような河川は道内でも貴重であることは誰の目にも明らかです。</p> <p>また、さけますが海と森を繋ぎ自然の循環に与える影響が大きいことが学術的に示されている今、ダムにより、人的管理した河川環境の保全を目的に挙げることに大きな不快感を感じています。</p> <p>貴会の資料にあるダム事業が決定される判断材料ともなった環境アセスの結果には、このサクラマスの調査結果がないことが残念でなりません。たとえ魚道をつけたとしても、産卵という大切な時を前に45mの落差を上る徒労をご自身に置き換えて考えて、事業内容を見直して頂きたいと思えます。</p>					